



梅雨らしい天気が続いていますが、6月下旬に3、4、5歳児クラスは待ちに待ったプール開きをしました。当日は思ったよりも涼しかったので、子どもたちの足首くらいまで浸かる程度の水をプールにいれ、プールの中を歩いたり、ボール拾いなどのゲームをしました。3歳児クラスはずっと楽しみにしていたはじめてのプールです。ほんの少ししか水が入っていないプールでしたが、入れたことがとても嬉しく、ぱっと明るく表情が輝き、その表情の変化がとてもかわいらしかったです。乳児クラスは天候のため水遊び開きはまだできていませんが、今年の夏は控えめな暑さで、子どもたちが大好きなプール遊び・水遊びがたくさんできるといいなと思います。夏の暑さに負けないように生活リズムを整え、夏の豊かな経験を存分に楽しみましょう。

今月の行事予定

七夕集会 幼児クラス
身体計測、避難訓練 全クラス

子どものつぶやき(3歳児クラス)

散歩先で捕まえた蝶々を保育園に持ってきて園長に見せることが恒例になっています。
子「園長先生、ちょうちよつかまえたよ」
園「わあ、今日もたくさんつかまえたね、いいなあ、楽しそう」
子「じゃあ園長先生も一緒に散歩に行こうよ」
かわいいお誘いでした。

みなみまつの様子

クラスごとにヨーヨー釣り、輪投げ、お面づくり、映画館のコーナーを回り、お祭りの雰囲気を楽しみました。「車のお面にしよう」「ここにシール貼ろうかな」と友達と話しながらペンやシールで思い思いに飾り付けをしてオリジナルのお面を作っていました。また、「次はここから投げてみようかな」と何度も輪投げに挑戦する姿もみられました。映画館のコーナーでは思わず笑顔になったり、楽しい場面で笑い声が聞こえたりと、和やかな雰囲気の中で映画鑑賞を楽しんでいました。ホールでは、てんとうむし組が盆踊りを踊ると、とんぼ組が優しく踊りを教えながら一緒に楽しむ姿があり、異年齢での温かい交流が見られました。最後は幼児クラスみんなで“月夜のぽんちゃりん”“わっしょい”を踊り、お祭りを締めくくりました。お面を嬉しそうに見せ合ったり、肩を組んで踊ったりと、友達と楽しさを分かち合う子どもたちの笑顔があふれ、思い出に残るみなみまつりとなりました。



～室内の運動遊びの様子を紹介します～

2歳児クラス・みつばち組

雨の日や夕方に、体育棒や巧技台、トンネルなどを設定し、室内遊びを楽しんでいます。体育棒を低くしたものは足元をよく見て“またぐ”、高くしたものは腹這いになって“くぐる” 巧技台は腕の力で自分の体を支え“ぐいっと”よじ登れるように設定をしました。最初に「ここはよいしょってまたぐよ。ここはワニみたいになってくぐるよ」と保育士が実際にやって見せると、その様子をよく見ながら上手に真似をして遊んでいます。子どもたちが“あっ！おもしろそう”“やってみたいな”と思うような設定をして全身を使う運動遊びを楽しんでいます。



幼児クラス

ホールに、巧技台や運動棒、フープ、ネットなどを組み合わせてサーキット遊びをしています。ある日、4歳児が天井からぶら下がったロープにしがみついて揺れたり、腕と足の力でよじ登ったりしていました。それを見た3歳児は興味津々で目を丸くしながらその様子を見ていました。その後、5歳児がすいすいと天井近くまでロープをよじ登る姿を見て、3歳児は「すごいね」「うえまていっちゃったね」と、目を大きく見開いていました。後日、3歳児もやってみることにすると、「これ、やれるの」「どうやってやるの?」と、試行錯誤しながら試します。両手に力を入れて落ちないようにぶら下がるのがやっとでしたが、何度も繰り返し楽しんでいました。それぞれの活動を見合う中で、年上の姿に憧れを抱いている3歳児や、年下の子の視線から意欲や自信にもつながっている4、5歳児の姿があり、子どもたちもそして担任同士も刺激し合いながら取り組み楽しんでいます。

